

児童発達支援評価表【保護者用】

公表：2024年2月 日 保護者数：113 回収数：35 割合30%

◎この「保護者からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行って頂き、その結果を集計したものです。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見等 (原文のまま記載)	ご意見に対する回答
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	33	2	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	27	5	1	2		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境 ¹ になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	32	2	0	1		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	34	0	0	1		
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画 ² が作成されているか	32	3	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	30	4	0	1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	30	5	0	1		
	⑧	活動プログラム ³ が固定化しないよう工夫されているか	30	5	0	1		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	21	3	5	7	我が子が発達障害でなければ知ろうとしなかったと思う。保育所や、幼稚園、小学校、中学校の先生方に少しでも良いので理解してもらおう場をつくってほしい。10人に1人の割合で、発達障害の子がいる。身近にいるということを理解してほしい。合理的配慮の意味を、勘違いせずに理解してほしい。特別扱いではないことも理解してほしい。	現在、つぼみ園に通園されているお子さまについては、各保育園、認定こども園、幼稚園と連携しております。また、今年度から、お子さまの地域支援の一環として八原保育所とつぼみ園間で交流保育をはじめました。 また、幼稚園や保育園等と療育内容の共有を図るため、保護者の了解を得た上で、お子さまの情報を共有しながら、円滑に支援が引き継がれるよう取り組んでおります。ご意見を参考にさせていただき、引き続き、お子さまを地域で支える環境づくりに取り組んでまいります。
保護者への 説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	32	2	1	1		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	29	3	1	2		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング ⁴ 等）が行われているか	22	3	3	7		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	32	2	1	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	27	4	3	1	実施後担当先生より保護者の対応について説明を受けています。	引き続き、個別の支援計画を基に、保護者の方々とお子さまについての情報を共有し、個々にあった支援を継続してまいります。
	⑮	親の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	20	3	1	11	支援の機会はあるが、平日開催でなかなか参加できない。	ご意見を参考にさせていただき、参加しやすい環境づくりに努めてまいります。

	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	28	4	0	3		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	29	4	1	1		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	28	3	1	3		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	28	2	1	5		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	18	2	2	13	・月に一回程度の利用の為参加していません。	保護者の方々に避難経路図について周知を行っております。また、施設内掲示板、各部屋へ避難経路図を掲示しております。訓練については、毎月1回地震、火災の訓練を行っており、訓練を通して、非常時に職員が冷静な判断のもと、お子さまの安全を確保することができますよう努めております。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	1	1	20		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	25	9	0	1		
	㉓	事業所の支援に満足しているか	22	12	0	0	・とても素敵な施設なので予約がいっぱいでなかなか通えないのが残念です。先生方の兼ね合いもあるので難しいとは思いますが、もう少し通える日数が増えると嬉しいです。	療育の頻度について、一人一人のお子さまに必要な回数を提供できるような体制整備に努めてまいります。

(注釈)

- 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。
- 「個別支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的をもって行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。